

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

今年も早いもので残すところ二週間になりました。

12月に入り、めっきり冷え込んで参りました。

風邪をひいている先生もいらっしゃいます。体調には十分気をつけて下さい。

毎年11月の終わりに開かれる京都での代理店会議に行って来ました。今年の紅葉は色鮮やかで最高に綺麗でした。



京都御苑

さて、今年一年を振り返って、私たち美容業界にとっては、とても険しい一年だったと思います。その中で最近感じたことを、今年最後の『たにぐちだより』でお伝えさせて頂きます。

水やり

会社の玄関にある植物に水をあげるのを2、3日忘れていたら、土が乾いて葉が少し枯れかけていました。毎日続けることの大切さを感じます。

掃除

ある繁盛店です。

閉店後にお伺いさせて頂いたのですが、スタッフの方がキビキビとした動きでセット面の後側など細部に渡り、徹底して掃除をされていました。

お客様を気持ち良く迎え入れる姿勢を感じます。

掃除が終わってからは熱心にトレーニングをしています。きっと素晴らしい美容師になると思います。

見送り

めっきり寒くなってまいりましたが、いつも私の車が見えなくなるまでお辞儀をして見送られる先生がいます。頭が下がります。

お花

毎月一回訪問しているお一人のサロン様ですが、いつ行っても壁のコーナーに美しい花を生けられています。先生のおもてなしの心を感じます。



相手良し自分良し

あるオーナーさんが二人いるスタッフさんの話をしていました。Aさんは、とても器用で何でも直ぐに覚え、そつなくこなし、お客様との会話もスムーズにこなすそうです。Bさんは、あまり器用でなく、お客様にもオドオドするタイプです。ところがお客様の心の中にはBさんの方が深く印象に残っているそうです。

ここに来て、仕事をこなす人、お客様のことを思いながら仕事をする人の差を感じていると言っていました。

信念を持つ。

ある繁盛店のオーナー様が、今は厳しい時代だけどふらふらしてはいけない。

自分のやるべき仕事がちゃんとできているのか、自分やっていることを一つ一つ確認し、もっともっと磨きをかけて行くと言っていました。

心で動く

あるオーナー様の話です。心で動くお客様と物で動くお客様がいると思います。今は、物で動くお客様の割合が増えているのだと思います。自店は心で動くお客様に来て頂きたいと思っています。

お客様によって満足されるポイントは違います。どの方も合わせるのではなく、自分の得意なお客様をとっていく。そのため自店のこだわりをもっともっとアピールして行きたいと言っていました。

このオーナー様は、集客のために自店のこだわりを書き込んだチラシを作成し、定期的にお店の近くをポスティングして集客につなげておられます。

※裏面に続く

決めること

あるスタッフの方が小さなことでも決めることは大変だと言っていました。人の上に立つリーダーの仕事は、決断すること。小さなことでも一つ一つ決めることは大変なことです。

謙虚さ

先日乗ったタクシーの運転手さんがサンフレッチェ広島の佐藤寿人選手を乗せたそうです。その際彼は、日本を代表する一流選手でありながら、我々運転手にも偉そうに振る舞うことなく、謙虚で人間的で、とても尊敬できると言っていました。選手中には偉そうにする選手もいるそうです。誰に対しても、謙虚な心で接したいですね。



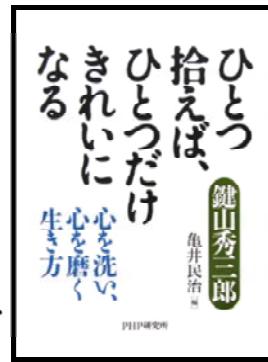
この様に、営業活動をする中で、日々の行動の積み重ね、日々こころを磨いていくことが大切だと感じます。ありがとうございます。

日々の積み重ねを実践されている鍵山秀三郎氏の著書から

『ひとつ拾えばひとつだけきれいになる』の中から『凡事徹底こそ』の一文を紹介させて頂きます

私が今まで歩いてきた人生を
ひと言で表現すると、『凡事徹底』、つまり『誰にでもできる平凡なことを、誰にもできないくらい徹底して続けてきた』ということに尽きます。

人が見過ごしたり、見逃したり、見捨てたりしたものをひとつひとつ拾い上げ、価値を見出す。やれば誰でもできる平凡なことを徹底して、そのなかで差をつける。そんな信念を持って、今まで生きてきました。ともすると人間は、平凡なことはバカにしたり、軽くあしらうがちです。難しくて特別なことをしなければ、成果が上がらないように思い込んでいた人が多くいます。



そんなことは決してありません。世の中のことは、平凡の積み重ねが非凡を招くようになっています。

いつも難しくて大きなことばかりを考える人は、失敗したり続かなかつたりして元へ戻ってしまうことが多いものです。

できそうにない特別なことばかり追いかけるよりも、誰にでもできる平凡なことを少しずつ積み重ねていけば、とてつもなく大きな力になることを知るべきです。平凡なことを徹底して続ければ、平凡のなかから生まれてくる非凡が、いつかは人を感動させると確信しています。

鍵山秀三郎著『一日一話』より

基本的な生き方

- 一、できるだけ譲る
- 二、掃除を徹底する
- 三、人を喜ばす
- 四、自我を張らない
- 五、与えられた枠を使い尽くさない
- 六、骨惜しみをしない



この六つを小さく積み上げてきているうちに、ある日気づいてみたら、とてつもなく大きな力を授けられたような気がします。

ゆとりとは、心の不安がない状態だそうです。私はいらっしゃして相手の立場にたてず、自分の立場を優先してしまうことがあります。

こういう時こそ、相手優先の心で行動して行きたいと思います。

今年一年本当にありがとうございました。

心からお礼を申し上げます。

皆様にとって来る年が良い年でありますように心よりお祈り申し上げます。